

## 「事業所統計調査」御協力ありがとうございました

## 商業実態基本調査のお願い

去る七月一日現在で実施しました事業所統計調査にご協力いただきありがとうございました。今回の調査の結果、町内の事業所の概要是次の表のとおりです。前回の五十六年と比較しますと新設事業所は三十一、廃業事業所は五十四で全体で二十三事業所の減となっています。なお詳しいことは十二月号に掲載する予定です。

十月一日現在で、卸売業、小売業の事業所のうち、通商産業大臣の指定する企業を対象として調査が行われます。この調査は、商業を営む企業の経営の実態を明らかにし、中商業施策の基礎資料を得ることを目的とした重要な調査です。

### 俳句



## 広報みしま

(昭和61年9月15日発行)

9

第222号  
毎月15日発行  
定価1部20円

町のすがた

(9月1日現在)

人口 男 3,302人 (+12)  
女 3,525人 (+4)  
計 6,827人 (+16)  
世帯数 1,653 (+1)  
( )は8月1日との比較

昭和61年9月15日  
発行 新潟県三島郡三島町役場  
☎ (0258) 842-2221  
印刷 長岡市総合印刷 KK中越

### 昭和61年事業所統計調査の概要

△は減少

調査区	地 域	事業所数	前回(56年)	増減
1	蓮花寺、中永、上条、逆谷	28	25	3
2	気比宮	11	12	△1
3	藤川、宮沢	21	20	1
4	中条、新保、大野下河根川、瓜生	30	31	△1
5	脇野町のうち宮下町、神明町、中江町、日之出町	39	37	2
6	脇野町のうち下横町、本町	23	28	△5
7	脇野町のうち学校町	28	27	1
8	脇野町のうち志田町、旭町	36	34	2
9	脇野町のうち上横町	12	16	△4
10	吉崎のうち下町	13	17	△4
11	吉崎のうち中町	14	20	△6
12	吉崎のうち上町	6	13	△7
13	上岩井	17	19	△2
14	七日市	17	19	△2
15	島越	41	41	0
計		336	359	△23

### 昭和61年10月1日は飲食店調査の日です

調査に御協力を願います

飲食店を営んでる皆様へ



三島まつりにおきまして、吉崎の電気店さん(Kご主人)の手造りの「大仏魂」(テレビにまけないと大好評)の「福祉の箱」に、吉崎の三姉妹のお子さん始め、多数の皆様からご寄附くださいました。Kさ

んより、町の福祉にとそつくりご寄附くださいました。ここにご寄附くださいました多数の町民の皆様方に厚く御礼申し上げ

ます。皆様の意に報いるよう十分検討いたします。ありがとうございました。

### 今月の納税

\* 固定資産税 (都市計画税) 第二期分  
\* 水道料 第二期分  
\* 国民健康保険税 九月期分  
ガス料金 九月分

鉤銭の焼けたる自動販売機  
岩清水胃の腑にしみる炎暑かな  
娘の踊見に来て母も輪に入りぬ  
稲花稲穂の上にしたたり  
カレンダー見直すほどの夜の秋  
曲がるほど近路となる白木槿  
帰省子の鍛へたる脚投げ出して  
娘の踊見に来て母も輪に入りぬ  
稲花稲穂の上にしたたり  
カレンダー見直すほどの夜の秋  
安達南風  
木戸恵津  
棚橋比呂志  
中村遊雲  
大滝著風  
達藤枯骨  
丸山義應  
井上蝶子

## '86みしま祭

超特大スターマイン  
— 町民一同提供 —

今年、30回目にある恒例の三島まつりを町民の皆様はじめ、関係各位のご協力により、それぞれの行事が盛大に実施できましたこと大変ありがとうございました。職域野球に始まり前夜祭、のど自慢、笛笛吹奏楽パレード、たるみこし、シャギリ、エレキバンド、悠久大鼓、三島おどり町内流し、大花火大会等と祭り広場は、最高にぎわいました。

新しい試みとして、町内各戸にお願いし、ご寄附いただいた金額は、499,745円の多金額となり、すばらしい超特大スターマインを打揚げることができました。謹んで、御礼を申し上げます。



広報みしま

この他に私は音楽サークルの活動に参加しており、特に今年は幹事長として部員をとりまとめたり運営の方向を決めるなど重要な立場にいます。

社会に出来れば なまの こと人間関係は 重要になつてくると思ひます。

とてもきれいに見えます。

中学校での三年間を終えた後  
私たちはそれぞれの道を一生懸  
命歩んでまいりました。目的と  
する職業を意識し、更に高度な  
知識を求めて高校へ行つた者、  
腕一本で生きようと決意し、社  
会へ飛び込んでいった者等々、  
道はそれぞれ違つていましたが

本日このような成人式を催しております。  
申上げます。

大

新

日々「挑戦」の気持ちで

奈良場 久さん（鳥越）

## ふる里と家族に感謝して

に感謝して

# ばたけ

# 61年 成人式

## 新成人の抱負と決意

実習場では、求められる看護婦像と自己の未熟さの矛盾にいつも悩まされています。そんな時に私を勇気づけてくれるのは、懸命に病気と闘っている患者さんの姿です。今までいろいろな患者さんに出会いました。副作用のために吐きながら点滴を続ける白血病の女の子、その傍で笑顔を絶やさずにそのまま寝てしまうお母さん。脊髄損傷で手足が動かなくなつても「生きやり直しだ」と機能訓練に励む男の人を見て、人間は強いくだなあと思いました。素晴らしい生き方に触れることで勇気づけられただけでなく多くのことを学ばせていただきました。

私は生涯、看護婦として学び続けていきたいと思います。

就職したので家族に泣きつらは見せたくありませんし我慢我慢でした。そういうものは目で見ただけではわからず、学生時代のアルバイトとは別のものであり、やはり自分で味わってみなければわかりはないのです。社会になつて、やつと二十の自分をほんの少しあみしめることが出来たような気がします。責任……仕事をしている上で、又東京で一人暮らしをしている上で、「二十」としての責任は重大であります。他の人の信頼を裏切ることは自らが孤独になることに他なりません。私は今私を支えてくれる家族や友達がいます。とても幸せなことです。「二十」になった今

よく「あなたたちは今一番いい時ね」と言われます。休みの日には食事にでかけたり、映画を見たり、何をやっても何を見ても新鮮だし、最高の時かと思っています。もちろん恋愛もしたいし、仕事で頑張つて認められたいし、友達と旅行にいったり遊びたいですし、本を読んだり勉強をしたり、やりたいことは山ほどあります。「直スケは会うたびに何か違うものが光っているね」なんて言われたいと思います。

## 理想の看護婦像めざして

卷之二十一

卷之三

番感謝しているのはやはり両親です。東京での就職、それは私のわがままでした。二十年間育



